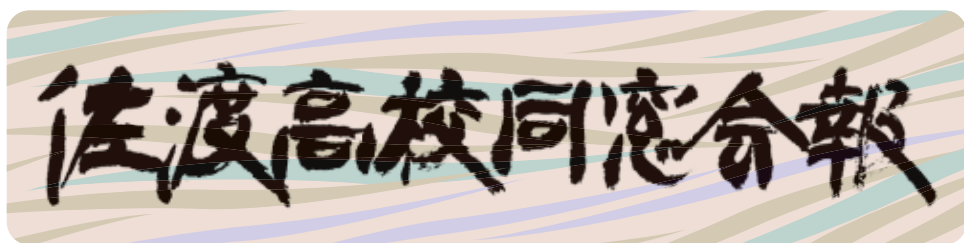


主な内容	
2～4面	寄稿
5～6面	維持会費納入者一覧
7面	寄稿
8面	寄稿・同窓生の活躍
9面	寄稿
10面	寄稿・支部総会
11面	在校生の活躍・寄稿
12面	お知らせ



発行所 佐渡高等学校同窓会
代表 鈴木 啓介
題字 川上治美(昭47年卒)
〒952-1322 新潟県佐渡市石田567
新潟県立佐渡高等学校内
振替 00620-3-805
☎(0259)57-2155代
FAX(0259)52-5253



佐高生の登校風景



ご挨拶

同窓会長
鈴木 啓介

佐渡高等学校同窓会
会員の皆様におかれま
しては、ますますご健
勝でおすごしのことと
存じます。
このたび、中山秀英
氏の同窓会長退任に伴
い、その後任として佐渡
高等学校同窓会会長を拝
命しました鈴木啓介と申
します。
本来であれば同窓会
総会での承認、ご挨拶
を経て就任となりま
すが、コロナ禍にて総会
が2年続けて開催でき
ず、この同窓会報を通じ
ての初めてのご挨拶とな
ります。
私は昭和58年に佐渡
高等学校を卒業、大学卒
業後は新潟市や神奈川県
相模原市で勤務し、2
年半のドイツ留学を経
て平成14年より佐渡市に
Uターンしました。同
窓会活動に関しまして
は、令和元年より中山前
会長のご指導のもと同窓
会副会長として従事しま
した。今回、歴史ある佐
渡高等学校同窓会会長に

今年4月1日付けで、
十日町高等学校より赴
任しました。昭和57
(1982)年卒業生で
す。佐高を卒業し今年で
40年になります。
同窓生の皆様、どうぞ
よろしくお願いいたし
ます。
校長として3校6年目
を迎えました。校長初任
の出雲崎高等学校在任中
は、国道402号線海岸
沿いの住まいから、毎日
海の向こうのふるさと佐
渡を眺めていました。毎
年お盆の時期には、墓参
で帰省していましたが、
出雲崎高等学校時代の思
いが通じたのか、こうし
て母校に着任させていた
だきましたこと、大変光
栄に思っています。
微力ではございます
が、佐高発展のため精一



ご挨拶

学校長
森川 幸彦

杯努めてまいりたいと
思っています。
高校時代は、故 隅田
敏明先生のご指導の下、
柔道部に所属し、日々稽
古に励んでいました。ま
た、高校3年時には、隅
田先生のご自宅離れに下
宿させていただき、毎日
奥様の美味しい食事をい
ただいていました。
先生の厳しくも、愛情
ある温かい指導は、今
でも私の原点となってお
り、私が柔道の指導者を
目指したのも、先生のご
指導の賜です。
先生は、私が高校を卒
業した年の4月12日朝、
心不全のため急逝されま
した。その突然の悲報に
呆然としたことを思い出
します。
赴任後、菩提寺である

ご推薦いただき、その重
責に身の引き締まる思い
でいっぱいです。微力で
はございますが、同窓会
活動を通じて母校の発展
に少しでも寄与できるよ
うに頑張ります。
2020年2月のクル
ーズ船乗客の感染から始
まったコロナウイルス感
染症が、日本社会におい
てこれほど大きく、長期
にわたって影響を及ぼす

とは当時想像もつきませ
んでした。単に医療面
にとどまらず、直接的な人
的交流の制限により面会
や会議、講演等はWEB
をとおして行うことが常
態となり、在宅勤務も普
及しました。学校生活で
は臨時休校、各種行事の
中止や縮小、対面授業か
らWEB利用による授業
への切り替えなどが行わ
れました。このコロナに
よる影響はもちろん佐渡

にも波及しています。佐
渡高校の同窓会活動にお
いても、総会をはじめ多
くの支部総会が中止とな
り交流が途絶えています。
このような時代に同窓
会活動を維持するため
にはどうしたら良いの
か。WEBを用いること
で国内はもちろん、世界
のどこにいたとしても地域
を超えて交流することが
可能です。Facebookなど
のSNSやホームページ

等を活用し、情報発信や
交流を積極的にを行い、若
い世代の方々にも気軽に
同窓会活動に参加してい
ただけるような環境を作
っていききたいと考えてい
ます。
同窓会の用事などで佐
渡高校を訪れると、在校
生たちが立ち止まり丁寧
に挨拶をしてくれま
す。この礼儀正しい行為
にはいつも感心させられ

ます。この生徒たちに離
島というハンデを感じさ
せず、佐渡高校に進学し
てよかったと思えるよう
に同窓会として教育活動
の支援をしていきたいと
考えています。
そのためには皆様のご
支援、ご協力が必要とな
ります。様々なアドバイ
スなどは是非お力をお貸し
いただければと思いま
す。よろしくお願い申し
上げます。

龍鳳寺に墓参し、着任の
報告をさせていただきま
した。
当時から大きく変わっ
た施設は、プール跡地が
室内練習場に、グラウン
ドに面した柔道場跡地が
トレーニングルームに、
そして、毎日昼食をいた
だいていた食堂が、老朽
化のため使用不可となっ
たこと(最近まで吹奏楽
部の練習場として使用)
などですが、変わらない
のは、森に囲まれた立派
な400トラックを有す
るグラウンドと、校舎上
層階からの真野湾の雄大
な眺め等です。その眺め
を久しぶりに見て、帰っ
てきたという実感が沸
き、気がつけば「ひのひ
かり かがよふ波に」と
歌っていました。
これまでも佐高生の様
子は、この同窓会誌等で
拝見しており、全国体育
大会出場等、その活躍を
喜んでいました。施設の
充実も、生徒の活躍と同
窓会の御支援によるもの
と感謝しています。

さて、現在の学校現場
は、文科省「GIGAハ
イススクール構想」による
急速なICTの導入も相
まって、教育環境等が大
きく変化しています。
まず、新学習指導要領
に基づく教育課程を、今
年度入学生より実施して
います。国語科や地歴・
公民科では、学習内容が
再編され、科目名の変更
や「公共」という新設科
目も設置されました。
また、「生徒の主体的
深い学び」が重要視され、
これまでの教師が何をど
のよう教えるかという
視点ではなく、生徒が何
をどのように学び、その
学びをどのように生かす
か。このように教育の視
点も変わってきていま
す。
本校での新たな取組と
しては、県教委から指定
を受け、令和三・五年度、
「新潟の未来をSaGa
Suプロジェクト」に取
り組んでいます。
これは、文科省委託事
業「COREハイスクー
ル・ネットワーク構想
地域社会に根ざした高等

学校の学校間連携・協働
ネットワーク構築事業」
を受けたもので、佐渡島
内の五つの高校と新潟市
の高校をネットワークで
繋ぎ、遠隔授業やオンラ
イン講習の配信などの実
証研究を行う取組です。
さらに、佐渡市と連携
し、地域協働の支援を目
的とした組織である「佐
渡教育コンソーシアム」
による、地域を支える人
材の育成に取り組んでい
ます。
これらの取り組みは、
「生徒の主体的深い学び」
に大きく繋がるものと
思っています。
最後になりますが、遙
か雄大な真野湾の水平線
を臨むが如く、目標を明
確にし、自身で人生を切り
拓いていくことができ
るたくましい佐高生の成
長を目指し、職員一同、
鋭意努力してまいりま
す。
同窓生の皆様には、今
後とも変わらぬ御支援を
賜りますようお願い申し
上げます。

元同窓会長 故廣田成雄様を偲んで



佐渡高校同窓会

会長 鈴木 啓介

元佐渡高等学校同窓会会長の廣田成雄様が、令和4年5月23日に御逝去されました。

廣田様には、平成15年から同窓会会長として、会長退任後の平成19年から同窓会顧問として、合わせて19年間もの長きにわたり、母校と佐渡高等学校同窓会の発展に多大なる御尽力をいただきました。

廣田様は、平成18年の佐渡高等学校創立百十周年を迎えるにあたり、同窓会長としてリーダーシップを発揮され、周年記念実行委員の皆様と共に記念事業や行事を企画しました。そして、佐渡高等学校創立百十周年記念式典・廣橋光治様の記念講演・祝賀会を成功裏に導きました。記念事

業では、皆様の浄財を活用し、生徒の学びを保障するための教材・教具を購入し、生徒の憩いの場を確保するために旧寄宿舎受用寮跡地を整備・庭園化しました。優れた人材育成の基盤をつくり、文武両道の佐高生が育っています。

廣田成雄様を悼む

本間 弘美 昭和26年卒

去る5月。風薫るある朝、私は新聞のおくやみ欄を見て驚いた。『廣田成雄 89歳 畑野宮川』と出ているではないか。彼は私と同じく、昭和20年4月に旧制佐渡中学校に入学し、26年3月に新制の佐渡高校を卒業した。

（第1回）同期生の一人である。当時は教育制度が6・3制に移行したのに伴って、私たちは同じ校舎に6年間通うことになった。そのため200人以上いた同期生は、ほとんどお互いの氏名を覚えてしまったのである。廣田君は在学中は地味な存在だった。ただ彼の父は同じ佐高

の国語科の先生で、渾名は「ボン」。だから成雄君もボンの倅として、それなりに注目されていたようだ。成績は上の中くらいだったか。各教科とも平均以上の域に達していたらしい。佐高卒業後は早稲田大学（教育学部）に進み、卒業後は帰郷して相川高校高千分校を振り出しに、羽茂高校赤泊分校、村松高校、羽茂高校校長を歴任、1993年（平成5年）に退職するまで38年間、高校社会科教育を盛り上げ活躍した。彼の在職期間の後半は生徒数の減少期に入り、ややもすると生徒の向上意欲の脆弱化が懸念されたが、彼は骨太の気概ある生徒の育成に熱心に取り組んだ。退

果たした佐高球児を現地で応援し、令和2年には、42年振りに「春高バレー」出場を果たした佐高男子バレーボール部員を、笑顔でたたえていました。

廣田様は、昭和30年に教職に就き、平成5年に県立羽茂高等学校の校長として御退職されるまでの38年間、新潟県の学校教育に情熱を注がれました。そして御退職後は、人権擁護委員、宮川老人クラブ会長、県高等学校退職校長会佐渡支部長などを歴任され、郷里の発展にも尽くされました。廣田様は、このような生涯をかけての教育愛や社会への功績が認められ、令和2年に「瑞宝小綬章」を受章されました。心より敬意を表します。

廣田様には、同窓会の会議等で、いつも実践経験に基づいた建設的な御意見をいただいていたりました。佐高同窓会は、進むべき未来像に向かって歩んでおります。深く感謝し、御礼申し上げます。廣田様のこれまでの御指導に感謝し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、心より御冥福をお祈り申し上げます。

職後は母校の同窓会長など、地域の責任あるいくつかの活動にも加わり、成果を挙げた。しかし、80歳代になると寂しさを晴らす為か、酒に親しむようになり、体調を崩す。つい5月23日佐渡総合病院で老衰のため不帰の客となった。廣田君の生涯を辿ってみると、彼が勤務した高校は誰もが知っている著名校ではなく、地域の小規模校が多かった。しかし、そういう小さな学校の教育こそ重要なのである。彼は学校の教育に生涯を捧げた教師の一人として、記憶されるべき存在だったと言えるのではあるまいか。謹んでご冥福をお祈り致します。

回想同窓会支部総会（島外）

同窓会顧問 中川 哲昌（昭和32年卒）

今は昔、平成19年8月19日佐渡高校同窓会年次総会（会場 畑野農村環境改善センター）の席上で、次期同窓会会長を拝命した。廣田成雄同窓会長から話を聞いた時は固辞したのであるが最終的には佐渡高校の為に押し切られた。

早速、同年9月29日には関東支部総会（上野・精養軒）に出席した。諸分野で活躍の諸先輩を前にし、私のような元半導体技術屋で勤めがはたせるか心配になった。しかし久しぶりに卒業同期生にもお会いする事が出来、新しい世界を感じた。続いて関西支部、中越支部長岡から総会のご案内を頂くが日程が重なり、同年10月19日の中越支部総会に出席した。大地正幸支部長は長岡市議会の議員を長年務められた。会場は例年長岡の割烹十字路と決まっていた。

翌年から、島外では関東支部、関西支部、北帰会、静岡支部、中越支部等の総会、又島内の両津、畑野、金沢、新穂、相川、二宮、羽茂、小木、赤泊等全ての支部総会には必ず出席する事にした。例年春から夏にかけて佐渡島内支部総会、秋に島外支部総会が開かれた。各支部それぞれで伝統があり特長もあった。関西支部総会には平成20年10月18日に初めて出席した。これを機に同支部石

たら、鳥居の所に「この鳥居の木は佐渡から来たものである」との看板が有ったという。佐渡の何処かとの問い合わせてあった。これは羽茂の鳥井原（羽茂大橋）にあったネズミサシの太木で、寛永20年（1643）に切り出し、翌年正保元年に敦賀に送られたものである。この様なやり取りで、佐渡の歴史について学ぶ多くのきっかけを作った。

北帰会は今古屋地区を中心とした支部で、熱田神宮に近い料亭「賀城園」で毎年開催され、平成21年2月11日の支部総会から参加させて戴いた。木透伸夫支部長は文学を始めあらゆる分野に造詣の深い方で、昭和52年に支部が発足し長い歴史を持つが、連帯感が薄れて来た事を心配されていた。賀城園は美しい庭が印象的であった。静岡支部には平成21年11月8日、富士宮市の高原ホテルユ一富士で開催された支部総会に初めて参加させてもらった。同ホテルの料理長は佐渡金井の出身と聞いて驚いた。福田哲也支部長は大学時代、新潟市関谷本村町にあって、新湯市関谷本村町にあって、隣の水落家で、お互い自炊しながら隣の部屋で過ごした縁の深い人であった。静岡支部は静岡県東部（富士宮市、沼津市など）、中部（静岡市を中心に）、西部（浜松市、掛川市など）の順に毎年会場を設定していると言う。

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

で滴たされ、しかもマーケットもあると言う今迄見た事も無い雰囲気のある所であった。取分け忘れられない出来事は、平成23年3月、佐渡高校甲子園出場であった。

その年の3月11日には東日本大震災が発生し、高校野球大会も開催が一時危ぶまれたが最終的には開催が決まった。被災された皆様へ心からのお見舞いを祈念し、3月23日の開会式、そして3月26日の第1試合に、事務局の川上治美先生と共に甲子園を訪ねた。試合当日、第1試合は佐渡高校と智弁和歌山高校との対戦で、1回に2点を先取されるも、4回に1点を入れ返し、相手チームは慌てた様子であった。思いもよらない快挙であった。試合は8対1で負けたが悔いのないものであった。試合前日の夜には、関西支部石井支部長を始め支部の皆様と懇親会が開かれ、途中から高野市長も参加して戴いた。特に開会式の翌日は関西支部板倉健事務局長に、国立民族学博物館をご案内戴き、須藤健一館長（佐渡河崎ご出身）をご紹介戴いた。須藤館長には館内を丁寧にご案内戴いた。また佐渡高校甲子園出場に際して多大な御寄附を頂戴した企業へのお礼訪問にも同行して戴いた。このように多義にわたり関西支部の皆様には大変お世話になりました。

佐渡高等学校同窓会の皆様の温かいご支援により四年間の任期を務めさせて頂きました事に改めて厚く御礼申し上げます。

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

掛川市で支部総会が開催された年、総会が終わってから掛川花鳥園へ連れて行って貰った。巨大な温室には鳥や花

佐渡から 初めての プロ野球選手誕生！

目標を持つことの 大切さ

菊地 大稀
(平成30年卒)

私の今の目標は、1軍に定着し長い間活躍することです。

目標を達成する為に、たくさんの課題をクリアしなければなりません。

でも、絶対に諦めないという気持ちを持って日々努力したいと思います。課題をクリアし、1軍で活躍することで佐渡の子どもたちに目標を持つことの大切さ、その目標を達成する為に努力をすることの大切さを知ってもらいたいです。

最後に島の子供でも上のステージでやっていけると言う事を知ってもらうために、どんな困難があっても乗り越えられるよう努力をしていける人でありたいと思います。これからよろしく願っています。



日刊スポーツ提供

菊地大稀投手が 高校生の頃

佐渡高校野球部元監督

加藤 芳宏
(平成2年卒)

私は佐渡高校野球部OBで、3年間野球部の顧問・監督を務めました。その最後の年(平成26年)に入部した生徒の一人が、菊地大稀です。

細身で身長長、まさに投手という身体つきをしていて、入学直後から非常にキレの良いボールを投げていました。ブルペンで投球練習をさせる

と、バランスよくすつと立って、ゆったりとしたフォームから、低めに構えたミットに回転量の多いボールを狂いなく投げ込む。それを何度も繰り返すことができた再現性もある。それまで島外の高校で多くの高校球児を見てきましたが、これほどの投手はいませんでした。ひと目でプロに行ける可能性のある選手と感じました。外野からのバック

ホームの送球は、糸を引くように垂れない。受け手が捕れないと思わせるような球質でした。身体の柔軟性もあり、長い脚を真横に広げて、上体が床につき

ます。これには、他の選手たちも驚いていました。

野球部OBの方々の間では瞬く間に、すごい投手が入学してきたと評判となりました。五月頃の練習試合では、遠方から彼の投球を見に来る

方が多数いたほどです。高校野球ファンの間でも、すぐに評判になりました。バックネット裏の相手チームの保護者や観客は、高校1年生の彼の投球に驚愕していました。

その様子は、今でも鮮明に覚えています。

私は次の春、転勤となり、別の高校で野球部の監督を務めています。彼が3年生の秋、当時のドラフトの彼の面接担当と話をする機会がありました。そのスカウトがこのように話しています。「彼は投球も非常に良いが、性格が良い。素直で純粋。」投手としての才能も素晴らしいと思います

が、佐渡という環境で育ち、そのようにスカウトから評価されたことを嬉しく思いました。

練習に真摯に取り組む、努力を惜しまない。プロ野球の世界でも益々自分を磨いて活躍してくれると思います。

私たちの夢

若林 玲伯
(平成30年卒)

私が初めて大稀と対戦したのは小学生の時です。その時から直球が速く、すごいピッチャーだなと思っていました。そんな彼から、ランニングホームランを打ったのはいい思い出です。

中学生になると、私は佐和田中学校、大稀は真野中学校で、何度も対戦しました。ス

トレートはもちろんですが、縦に大きな変化球があり、さらにすごいピッチャーになっていました。当時のチーム内では、大稀を打たなければ、佐渡で優勝はできないという共通認識がありました。

佐渡高校に入部し、初めて同じチームでプレーすることができました。1年生の夏からベンチ入りできたのは大稀と私だけで、遠征や練習、船や宿など常に一緒に行動し、不安でいっぱいだった私にとって心強い存在でした。私は高校に入部してからキャッチャーを始めた、大稀の140キロのス

トレートやスライダーがともに捕れずに迷惑を掛けました。それから、大稀に気持ちよく投げてもらいたいという思いで練習をし、大稀よりも長く球場にいれば、誰よりも練習したという気持ちになりました。

小学生の頃から対戦し、高校ではバッテリーを組んだ大稀が、目標だったプロ野球選手になれたこと、自分ごとのように嬉しく思います。大稀がプロ野球選手として、これから活躍することは私の夢でもあります。

これから大稀らしく、堂々としたピッチングで私たちに勇気を与えてください。応援しています。

菊地大稀選手に
期待をこめて

関口 圭一
(46年卒 野球部OB会元会長)

皆様もご存知のとおり、昨年のドラフト育成選手として読売ジャイアンツに指名され、早くも今年の4月29日支配下選手となった日の東京ドームでの阪神戦にリリーフで登板しました。

それも新しい背番号「96」のユニホームが間に合わず育成選手の3桁の「019」の背番号での登場に驚いたことと思います。

佐渡初のプロ野球選手がこんなに早くデビューするとは想像できませんでした。

佐渡市役所の正面玄関には、大きな垂れ幕が掲げられています。佐渡市民全員がエールを送っています。

全国のプロ野球ファンが注目する選手に成長すること

を期待しています。

祝
読売巨人軍 96 菊地大稀投手
プロ野球一軍登板おめでとう！



日刊スポーツ提供

大稀へ

知本 敏郎
(50年卒 野球部OB会元会長)

佐渡初のプロ野球選手として、佐渡高校から桐蔭横浜大学を経て育成ドラフト6位で巨人軍に入団。大学時代の鍛錬が支配下登録に繋がって、今日に至ります。それは凄いことです。正直驚きました。お

気付きの方も多いでしょうが、大稀の登板は、リードを許した試合、しかし決して敗戦濃厚な試合ではないのも首脳陣の一定の評価の証しです。

最終目標は、先発投手でしょう。この思いを胸に、眼前のリリーフの役割を淡々とこなす、首脳陣の信頼を勝ち取り、ステップアップして欲しい。

最後に、数多い高校野球経験者の末席を汚す程の者が、大稀を語るのが相応しいのか甚だ疑問ですが、同窓生皆が応援しています。

1軍に定着し、さらにローテーション入りし、大きく飛躍することを期して終えます。(敬称略)

豪速球投手の幻想は捨て、自身の球速を打者に160km/hと見紛う投球(配球)術を磨くことです。勿論、巨人には頭脳派捕手は居ますが、彼等に頼らず投球(配球)術を自ら確立し、捕手に提案出来る様な『野球知』を培って欲しい。それがプロの世界で生き残る道かと、考えます。

昭和54年度卒業生の還暦同期会再延期のご案内

同期の皆様方、いかがお過ごしでしょうか。あまりに長く続いてしまったコロナ禍にて、体調を崩されてはおりませんでしょうか。何としても健康第一で日々大切にお過ごしください。

さて、今年8月12日に予定しておりました同期会は再延期といたします。

来年の夏以降予定したいと思っております。

また、日程等決まりましたらご案内させていただきますので、よろしく願っています。

皆様お元気で！

幹事代表 鈴木 忠

お知らせ

★令和4年度佐渡高等学校同窓会総会を開催します。

総会日時 令和4年8月21日(日)
午前10時～11時40分
会場 旅館浦島 1階 ホール

参加ご希望の方は、佐渡高校同窓会事務局までお知らせください。

コロナ禍のため、総会終了後の懇親会は中止といたします。

★令和4年度関東支部総会・懇親会の中止について

東京では、コロナ感染者がこのところ1日約9000人以上の感染者が出ています。今後の感染者数の推移が不透明であり、役員会を開催し本年度も佐渡高校関東支部総会・懇親会を中止といたしました。

★令和4年度新潟支部定期総会・懇親会を中止いたします。

佐渡高校吹奏楽に寄せて



本間 千也

(昭和63年卒)

昭和時代最後の昭和63年卒業の本間千也と申します。第2体育館テニスコート東側の坂を下り石田川の橋を渡った所の鍛冶町で生まれ育ちました。新穂や畑野、相川地区などの遠方からバスで通う仲間たちを横目に、生徒玄関までおよそ350メートルという好立地から3年間通っていました。

高校卒業後は、音楽を学びに上京し、現在は東京佼成ウインドオーケストラというプロの吹奏楽団に所属しながら、東京を拠点にさまざまな演奏活動や音楽指導を日本各地に行っています。

故郷を離れて既に32年が経ちますが、恩師をはじめ佐渡高校吹奏楽部OB会の先輩後輩方のお陰で、これまでに出身校の二宮小学校や佐和田中学校をはじめ、金井小学校、真野小学校、赤泊中学校などの島内各地の小中学校や養護施設への訪問演奏、アミューズメント佐渡でのコンサート開催など、幾度も佐渡での演奏をさせていただきま

した。創部60年を迎えた佐渡高校吹奏楽部には早くか

コンサートをコロナ禍での延期やご自身の病と闘いながら実現へ向けて大変ご尽力くださいました。コンサートでは、舞台上でピアノリストの譜めくりもしてくださっていました。その二日後、コンサートの成功を見届けたかのように突然天国へと旅立られてしまいました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

今年5月からは児玉大輔さん(平成15年卒)が新たにOB会長となり、中村さんの遺志を引き継いでOB同窓生同士の交流と現役生の活動支援を継続していくことになりました。

吹奏楽は40人前後もの人数が世代や性別に関係なく時間と場所を共にしながら一緒に技術を研ぎ合ひ音楽を奏でるところにとっても社会的・文化的な意義があり、ほかのスポーツや文化活動ではなかなか得ることのできない学びの多い素晴らしい芸術活動だと思います。

現役生が吹奏楽を奏でる楽しさからより多くのことを学び、獅子ヶ城の高台から国仲平野へ響き渡るサウンドが島に明るさと元気を届け、故郷がより一層音楽に満ちた明るい島となれるよう卒業生としてこれからも応援を続けていきたいと思

29名が集い、米寿を謳歌

(昭和28年卒同期会)

令和4年6月7日(火)8日(水)、佐渡市ホテル志い屋で米寿祝賀同期会が開催された。佐渡島内16名、島外13名、計29名(男性20名、女性9名)で予想以上の多数出席を得て盛況裡に閉会した。顧みればわが年代は昭和9年4月から同10年3月(大まかに言えば昭和一桁最終年)に生を受け戦後の学制改革、六三制で新発足の新制佐渡高等学校(旧制佐中、同河原田女高統合)に昭和25年度第1回入学生として男女共学、当時の南校舎、2年次から北校舎で学び昭和28年3月卒業、以来この令和4年度にめでたく米寿を迎えるに至り、今回5年ぶりに開催する同期会に冠した次第。そして当日配布資料(事務局吉井本郷脇野久三郎君宅)によれば当同期会は昭和63年佐渡、東京、新潟の3地区合同で新潟市にて開催、出席74名(過去最多)の参加を得て行うことができ、それ以前の3地区バラバラ不定期開催の以後は各年3地区持ち回りで28年間定期的に継続開催。平成29年第2次止めの会を佐渡で開催。コロナ禍で休止、紆余曲折の結果今回晴れて米寿祝賀同期会開催に至った。回数の多さ、中身の濃さ充実度を含めて同期生の多数の特別の思いと自負していることは大いに特筆できるではないか。

さて当会は開催に当たり恒例になった判明物故者118名の御霊への冥福をお祈りし黙祷を捧げた。そして代表世話人脇野久三郎君の開会の挨拶は当会開催までの思い、悩み、経緯等又出席者への謝意、同期生出身中学別人数、逝去者数紹介等誠意の伝わるものであった。続いて同期生の小林加悦君(東京都住)のスピーチ「佐渡での思い出を語る」はジェットフォイル両津港入港時の佐渡の風景の何と素晴らしきことか感動を覚えたとの話に始まり、自身の高校生活、疎開学童、海外勤務、青春讃歌、人生讃歌と幅広い話題と行動に感銘を受けた。祝宴は乾杯の後、酒、ビール、料理と飲み且つ食し、歓談談笑の場となりお互いに旧交をあためる場ともなった。和気あいあいのうちに懐古談に花を咲かせる者、愚痴を吐露する者、政治経済社会に物申す者、察するにコワイものなしの年代でもある。又良きかな人生である。歓談、カラオケを楽しんだ後「高校3年生」「ふるさと」を歌詞どおり斉唱し閉会した。久しぶりの同期会故か、はたまた88歳、87歳の超高齢者の集まりの故か、お互い顔カタチの変貌、足腰の変形、あなただけ？驚きの連続であった。加えて聴力の不調、聞き返し、大声の会話、杖・補聴器等、日

常生活に思いをいたし高齢社会もここに極まりの感ひとしおであった。

考えてみれば同期生にとって「同期会」とは一体何なのか。同期生なるが故に互いに理解しあえる心理上の共通基盤のもと生活、仕事、家族、健康、病気など好調のときも不調失意のときも変わらず相集い、相語らい、相励まし励まされ、又視点を変えれば、第2順位の生き甲斐、越し方の青春の核高校生活への思い、友への心情、ふる里への郷愁そして歓談談笑何と素晴らしきことか。同期会良し、祝賀会も良し、すべて良しである。

終わりに佐高3年生時昭和27年から数えて今年令和4年は正に昭和97年、丁度70年の節目の年である。節目の慶祝に節目の年。「よくぞここまで」「いやいやまだまだこれからぞ」と意気軒昂。「ままだらず」「これまでか」と失意混在の感慨。卒寿、白寿

寄贈

この作品は私が新潟高校を講師で勤めていた際、教壇で制作過程の実演として例示制作した作品です。最後は、自宅で完成させました。

6月の大野亀はトビシマカソゾウの群生で神秘的な霧囲気を醸し出し、この世のものとは思えない世界となり感動的です。15年ほど前日帰りハイキングで訪れ、以降10枚以上制作し私の生涯のテーマ作となりました。仲田彰夫(昭和46年卒)



維持会費納入者一覽表

[illegible]

佐渡へ来ていた源義経

関川 英雄（昭和36年卒）

平成18年62歳、35年間年中無休の書店経営の幕を下ろすと、積年の夢全国歴史調査研究実現化であった。先ず伊能忠敬、今から182年も前に正確な日本地図を作成した足跡を辿るべく、配達に使っていたビザバイクにテント炊事具・百円地図を積み東日本一周に出発となった。

佐原伊能家調査参詣、海岸沿いの道路を全て走破した。因みに佐渡は、1803年測量、私家2代目は、家の前を通ったのを見ているはず、歴史はロマンでしょう。

翌年は、西日本一周へ。今度雨に降られた時は辛いので6万円で軽箱バンを買い、キャンピングカーに改造した。因みに13年間乗り5万円で下取りさせ同様中古購入、要領よく立ち回れば国民年金少々プラスで、ガソリン食費込み1ヶ月10万円以下で充分全国駆け巡れます。また、4年前横浜から新潟までカブ50CCで、ガソリン代762円、テント自炊で済ませています。

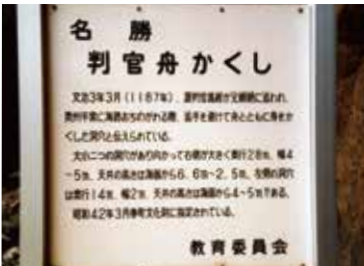
さて、私の指針、史実は現地に有りをモットーに全国史跡を訪ね、現地に立ち思いを馳せ巡らすのが、素人史家、無上の喜び、生き甲斐としています。最初の研究は、佐渡に流された日蓮で足跡全て辿るでした。久目川―東村山から寺泊迄のルート不明です。念仏者に命を狙われてい



佐渡の軍船に追われこの入江に入り沖の軍船をやり過ごした

る事から、更に山間の間道を通ったと考え日数、距離を考慮し推定ルートを編み出しています。山間抜け寺泊平野部田んぼ道へ出た時の日蓮の安堵感は何ほかりか、私も同時味あわせてもらいました。日蓮は、寺泊から佐渡へ船出するも海は荒れ角田浜岩場に吹き寄せられていきます。岩場調査しようと角田浜海水浴場から岩場入口の案内板見て衝撃を受けました。なんと「判官舟かくし」(写真)、判官といえは悲劇の英雄九郎判官源義経を思い起こす。同時義経も研究しており、私の懸命さに神様日蓮様も導いて下さったと頭を過り合掌しました。入ってすぐ判官舟かくしの入り江あり(写真)。これから説明始めましょう。義経は、頼朝に許可得ず官位授かったことにより命を狙われ、育ての親とされる奥州藤原秀衡を頼り日本海側北上となった。

安宅の関弁慶棧転で通り抜けたのはいいが、一行13名既にバレーしていた。1185



角田浜海水浴場から岩場入り口にあった看板

年義経捕らえるためと称し佐渡国も守護、任命された本間能忠の元には既に連絡が入っていた。直江津から鼠ヶ関まで北上しようと船出するも偏西風に阻まれ佐渡に吹き寄せられている。

「ビジュアル日本史」に載っている地図のみの表示、恐らく松ヶ崎あたりに着き、大膳坊阿新丸を逃した野浦の港辺りから再び船出するも結局元の方向に吹き戻されている。ところが怪しい船と佐渡の軍船が追ったのである、角田浜の岩場に船を隠しやり過ごした所が判官船隠しであった。再び陸路北上も弥彦神社参拝、この時、義経は後白河法皇より授かった扇を奉納していた。

ここで一言時代考証して見よう。佐渡は、1180年から1185年までは、平家の知行国、1185年から1201年比企一族が北条氏に殺されるまで佐渡は、素人の私としては、姓名から推し比企能員の忠実な家臣本間能忠が守護に任じられたと考えている。

1199年頼朝落馬により没すると1201年、越後の平家方城長茂の反乱有り、鎮庄に佐渡の軍勢が向ったと幕府正史「吾妻鏡」に記さ

れているから、比企氏本間勢の軍勢と考えている。推移から義経逃避行1187年鎌倉軍に追われた。既に比企一族また本間能忠が守護職として機能していた証とされている。友達に「義経佐渡に來ているぞ」と話しても誰も信用せず関川頭おかしくな

ったかと疑われる始末、まあいい。自己満足で充分。

比企能員1203年頼家に命ぜられ北条氏討討図るも政子に通報され失敗殺されている。その館跡、子の三郎法華堂建て日蓮に献呈、それが大町1にある長興山妙本寺である。1185年平家壇ノ浦で義経により滅ぼされると、頼朝砂金で有名な佐渡即支配。清盛日宋貿易で巨万の富を得るが輸出一位は砂金であった。西三川の砂金も含まれていたのではないかと考えるだけでもロマンです。元に戻り義経陸路村上市まで歩き再び船で鼠ヶ関まで北上、最上川遡り、新庄市の瀬見温泉で同道していた北ノ方頼朝より娶わされた正妻河越重頼の娘が産気づき、出産養生と滞留した所である。弁慶産湯求め亀割山下り河原の岩を薙刀で突いたら湯噴き出し産湯とした。滞留により亀割子安観音他七ヶ所全て義経史跡、目の色変え歩き回った。

ここが瀬見温泉の由来となった。再び平泉向かい出羽街道国道47号尿前の関は急坂だった。ここ迄来れば秀衡支配地、逃亡約2年、1187年安住の地辿り着くも、その年10月秀衡没。1189年頼朝の圧力に抗

し切れず義経泰衡に攻められ妻子刺し自害。30歳波乱万丈の生涯を閉じた。義経は義経堂、弁慶の墓は中尊寺入り口に、山中にある妻子の墓まで探し合掌した。悲劇の英雄を死なせたくない思いが北行伝説を生み、その他も全て辿った。

北海道から大陸に渡りジーンズスハーンになった伝説も生まれている。今でも弁慶岬あり、そこから大陸に渡ったのだろうかロマンです。

日蓮立正安国論で予言、1274年蒙古襲来文永の役3万、1281年弘安の役14万神風により沈没退散も鎌倉幕府九州石垣防塁築き。(写真) 御家人に損害与えたのも義経の仕返しかも知れない。

また、元に戻り義経通った直江津関川の対岸には、佐渡と関係深く更に古い940年も前、人買い山椒大夫により安寿姫と厨子王は佐渡へ、母は越中に売られ別れた所である。そこには供養塔が小さく土盛、柵巡せ綺麗に整備され、それに対し海府安寿塚は残念ながら荒れている。厨子王出世し姉安寿姫と母尋ね佐渡へ。海府鹿の浦で笹葉振り鳥追い姿の母見出した



九州沿岸防塁築く

が盲になっていた。帰路達者で目を洗ったところ見えるようになり、達者を喜びあつた。これが地名の由来。畑野まで来ると安寿姫苦勞から亡くなり、安寿塚として保存されている。後側椿の木怨念籠り異様な幹別れ何百年経ても消えてない。

夕映え

倉田 史子

雲のあいだから夕陽が
ひかりの塔のようにおりてくる
やがてひかりは分散し無数に枝分かれして行く
雲の大きな切れ目が急速にちぢまり
おびただしいひかりの帯が
夕陽と海とのあいだに生まれた

はるかむこうは紫色を帯び近くは濃いだいだい色に
その色と色との境目は
すみれ色になっていた

海はうねりそこをめぐけて
天からひかりがなだれ落ちていた
ひかりの滝だ

「母死す」の報せに
冬の海峡で目にしたひかりの滝は
六次元の世界に向かう母からの言伝でだった

死者が生前に自分の慣れ親しんだ
周辺にとどまっている可能性はある
十年経つとも母はわたしの夢にあらわれる

ことばもなく見た荘厳な夕映え
あの時母の魂はひかりのなかにあまねく充ち
わたしに別れを告げていたのだ

※六次元＝長さ、幅、高さ、時間で構成する四次元の世界に速度とエネルギー量子の二つを加えた世界

昭和35年卒業。佐和田町河原田出身
日本詩人クラブ会員。日本現代詩人协会会员。「東京四季」同人

南線反対側、私の従兄弟箱根駅伝立教のアンカー本間久喜宅、佐渡高校同窓会報に掲載されました。平成18年以来欠かさず全国調査もコロナで中断、ストレス溜り、目標失い老化進んだようです。皆さんコロナに留意し長生きし、時代推移眺めましょう。

同窓生の活躍

叙 勲

○渡部春樹(昭和43年卒)

令和2年春「瑞宝小綬章」を受章

・建設行政事務功労 元土木研究所下水道部汚泥研究室長

○菊地省吾(昭和41年卒)



令和3年秋「瑞宝小綬章」を受章
・帝国ホテル内郵便局、郵

政監察官・司法警察員として郵政犯罪捜査郵便局

調査等約20年、関東郵政監察局各監査室、東北各県の調査指導他、省・庁・公社と改編を経て日本郵政公社茨城監査室室長を最後に退職。

○猪股文彦(昭和41年卒)

令和4年春「旭日小綬章」を受章
・元佐渡市議会議員

○山川辰也(昭和45年卒)

令和4年春「瑞宝双光章」を受章
・元公立小学校校長

40年余に及ぶ佐渡に飛来する

マガンの調査を報告

近藤健一郎氏(昭和46年卒・下新穂)

在学時代から野鳥観察に興味を持ち、現在も、佐渡野鳥の会佐渡支部の事務局を担う近藤氏が、この度、日本野鳥の会発行のStix(ストリクス)野外鳥類学論文集)第38号に、佐渡に渡ってくるマガンの調査を発表されました。



越冬地として飛来するマガンの調査を報告する。越冬地として飛来するマガンの調査を報告する。経年変化(減少)は、トキ

北海道移住半世紀に寄せて

北川 淳子(昭和40年卒)

鶴岡トシ物語
ー海外を通してー
栄養教育をー

私は、トシがデンマーク・ソ連、アメリカの教育事情の視察に向かっている昭和44年に、トシの出身地新潟の巻町の浜浦校に教師として赴任した。明治25年トシは、新潟県巻町で生まれて大正7年に札幌へ移住。生活改善講師・スペイン、チリなどの公使、領事の新太郎と大正9年に結婚し、脚気の多かったことで栄養学、幼児教育、後の大学、大学院をも設立する教育者として八面六臂の活躍をした高橋トシを知ったのである。

清く正しく雄雄しく私財を投げ打って!!今では沢栄一が持ち上げられているが、トシも負け

の野生復帰に合わせ生活環境を、島上げて整備してきたものの、マガンにとっては、1995年(2014年までの国仲平野の大規模圃場整備事業の影響、つまり、水田農地の改変が大きく影響している)と結論づけています。

末武正義(昭和41年卒)記

ぬ位、栄養教育を通して、今の北海道いや日本、世界の人人に甚大な功績を残した。女性沢栄一と私は理解しているのだから。その頃の北海道は昆布、ホタテがとれるにもかかわらず、出汁文化は知らず、全て北前船にて大坂、中国に出荷。北海道では、芋・かぼちゃ・漬物程度の食料しかなかった。米も獲れぬ冷害続きの時代であった。

私の勤めている浦浜校でも子どもさん達が「ほくのじいちゃん」は網走に行っている」「北海道からお土産が届いた」とか、ついつい北海道の名が出てびっくりしたものだ。実は、私も北海道を狙っていたのでじっくりと調べ始めた。

トシ先生は、ちよつと体調を崩しただけでも故郷の巻町へ戻り、甥っ子の奥様がお勤めの病院に入院された。想像を絶するほどの北の寒気、今のように暖房のない部屋は、布団の枕先の下が凍るほどの寒さにリユーマチ気味になったトシは、研修の旅行から帰ると針灸道具、足温熱器で足裏を温めながらの活躍、資金の工面、労働運動、議員活動この報告では、その千分の一も語りつく

せぬトシの86年の生涯。2017年8月鶴岡学園の七代鈴木理事長は、新潟県巻町の墓前に立ち鶴岡学園75周年の式典を報告した。詳しくは、ビジネス社出版「鶴岡トシ物語 栄養教育の母」を読んでほしい。

昭和17年(1942)トシは、北海道女子栄養学校長に就任(今の北海道文教大学)。一期生7名より始まる。1946(昭和21)第1回世界栄養大会でトシは講演。1947(昭和22)北海道栄養学校と改称。小原流華道なども習得。次々に高校も設立。あちこちの高校の校長に就任。新太郎とは、77歳の時(死去)別れてその後いろいろ賞も授かり春の叙勲・瑞宝章受章、幼稚園建設にも尽力。1978年(昭和53年)死去。86歳。トシの没後第6代、7代札幌明清高校に英米語科設置、ここを卒業されたなどしこジャパンは2011年ワールドカップで世界一になった。北海道文教大学とスリランカの学術交流なども始めた。とにかく大きく拾った。ここに書ききれぬトシの業績の一端でも知って、私は今後の移住の(世界を知る)意を深めたい。

今では北海道文教大学では、生徒さんたちが、正月のおせちを販売している。北海道新聞の2021年、11月に掲載されておりました。

佐渡から生まれた児童文学

「おれとご報告」

児童文学作家 高田由紀子(平成6年卒)

2016年に佐渡を舞台にした児童文学「まんぶく寺でまってる」を初出版してから5年がたちました。その間に、佐渡で遠泳に挑戦する少年を描いた「青いスタートライン」、相川町にあるガシマシネマさんを舞台のモデルにさせていただいた「君だけのシネマ」、競泳を通じて成長していく佐渡の少年たちを描いた「スイマー」など、佐渡を舞台にした物語を中心に子どもたち向けの本を書き続けてきました。

また佐渡高校時代の演劇部に所属していた経験をもとに、昨年から今年にかけて「オン・ステージ!」という児童文庫のシリーズも手がけました。

佐渡という魅力あふれる島と学生時代の経験が、今も物語を想像する時の原点になっています。そしてこのたび、「青いスタートライン」が学校のすすめる夏休み子ども本の、「スイマー」が千葉県課題図書に選定され、重版しました。それぞれ10刷目と4刷目になります。

本がなかなか売れないと言われている時代の中、本当にありがたい、感謝の気持ちでいっぱいです。これも、佐渡のみなさん

<既刊文庫>



オン・ステージ! ①・③ (ポプラ社・キミノベル)

<既刊単行本>



ハッピー・クローバー! (あかね書房)



スイマー (ポプラ社)



君だけのシネマ (PHP研究所)

拙著『順徳天皇』余聞



山田 詩乃武

(昭和五十二年卒、
佐渡東京在住、会社・団体役員)

『順徳天皇―御製で辿る、その凛烈たる生涯―』を昨春、上梓した。発売直後から各方面より反響が少なからずあり、一カ月を経ずに重刷となった。その要因として、昨年、令和三年(二〇二二)は順徳院が承久の変に敗れ鎌倉幕府執権、北条義時により佐渡に配流されてから八百年という大きな節目の年であったこと、本年、令和四年にはNHKの大河ドラマ『鎌倉殿の十三人』が放映され、主人公は北条義時で小栗旬が演じていること、などがあげられるかもしれない。

順徳天皇は第八十四代天皇。諱は守成。父、後鳥羽上皇(第八十二代天皇)と母、藤原重子の皇子として建久八年(一一九七)九月十日に生れる。承元四年(一二二〇)十一月、十四歳で即位。承久三年(一二二二)皇太子懷成親王(仲恭天皇)に譲位し上皇として承久の変を戦う。変に敗れ同年七月、配流先の佐渡に向け京を出立。在島二十二年、環京の望みが断たれたことを悟り自裁を決意。仁治三年(一二四二)九月、御命を絶つ。宝算四十六。佐渡での謫居生活ゆえ「佐渡院」とも称された。

順徳院は『増鏡』などの記述から「性格は素直で才気煥

それは、自裁を御決心された時、後世穢されないように、と近習に命じ真野山の頂で、御宸翰、御誦読の御経等を焚いて埋めるよう命じたため記録が残っていないからである。小佐渡山脈にあるその頂には塚が築かれたため経塚山と呼ばれることになった。

順徳院には平清盛の血が入っていることも興味深い。生母、重子の曾祖父、平教盛の異母兄が清盛である。さらに御齢八歳で壇ノ浦に入水した安德天皇は清盛の外孫で順徳院の伯父にあたる。平家の棟梁、平清盛は傲慢な性格で冷酷な独裁者との悪評が世上広く定着しているが、一方、温厚で情け深いところがあり、女子や下位の者には優しく、政治・経済面では先見性が高かったとの評価もある。

順徳院は幼少時、祖母、平教子に養育され「源平の戦」の話を繰り返し聞かされたことにより、反源氏、反鎌倉の萌芽が幼い心に宿り、後の承久の変に繋がる遠因になったのかもしれない。

前述の順徳院の第六皇子善統親王の玄孫に室町幕府第二代將軍足利義詮の妻となり、第三代將軍義満を産んだ紀良子がいる。このため義満は母系に皇統の血を引く貴種として廟堂の最高職、太政大臣を務め皇位簪奪の野望すら持った。その義満は能の大成者、世阿弥を寵愛したが義満の子、第六代將軍義教は世阿弥を冷遇し果ては高齡の世阿弥を佐渡に流しさせた。

順徳院を中心とした歴史上の人物円環はまだあるが、現在執筆中の小説『順徳天皇物語』(仮題)の中で登場させたいと思っている。

令和三年八月二十九日の新潟日報に掲載された女優で文筆家の村松英子先生による書評の抜粋ならびに順徳院の辞世を掲載し攪筆する。

山田詩乃武氏の『順徳天皇』は愛の書といえるだろう。この力作で語られる愛は、まずタイトルの順徳天皇に捧げられている。次に順徳天皇が流された佐渡にむけられている。(中略)その後半生を、山田氏は院の和歌に添うように優しく描く。

同時に、(中略)実に多くの文人たちの、佐渡と院に関わる和歌、文章を紹介している。おかげで佐渡へまだ行っていない私も、当地を淋しい孤島などと思わずにすんだ。明るい美しい島の親切な人々に院は敬愛された。(中略)山田氏に啓蒙されて、順徳天皇と佐渡が私にも身近になった。(後略)

思いきや雲の上をば
余所に見て
真野の入り江に
朽ち果てむとは



佐渡の雑煮「あんもち」

斎藤 明雄 (昭和46年卒)

「新年初頭の元旦から雑煮を食べるのはちよつと考えるとおかしい」と民俗学者の柳田國男はいっている(「正月の食物からみた祖先の生活」昭和9年『家の光』10巻1号)。昔は元旦には雑煮を食べるのが一般的だったというのが、なぜなら雑煮とは「かがみもちをはじめとしていろいろと神に供えたものを、幾日かしてから全部おろし、いっしょに煮て食べたもの」だからという。

雑煮は元来神聖なものだった。新年早々、ボートと雑煮を食べていると柳田先生に叱られることになる。さて、『広辞苑』によれば雑煮とは「餅を野菜・鳥肉・魚肉などとともに仕立てた味噌汁または清汁」とあるが、

確かにそのとおりだが、いい感じはしなかった。餅入り味噌汁のどこがおいしいのかという反発もあった。

私にとっては佐渡のあんもちこそ(地区によって「あんこ餅」「あん煮」などともいうようだが)、正月のおいしいごちそうだった。今はどうなのだろうと思い、佐渡在住の高校の同級生に聞くと、「ちゃんと受け継いでいます」との嬉しい返事が返ってきた。

私はのちに、出雲地方に丸餅をあずき汁で食べる雑煮があることを知り、また、香川県では正月にあんの入った丸餅を白味噌仕立てで食べる習慣があることを知った。「あん系」もそれなりにあるようで、肩身の狭い思いをすることはないのである。

ところで、昔のわが家では、あんもちのほかには煮しめなどの一般的なおせち料理もあり、特別料理としてトリ汁があった。トリ汁は、家で飼っていた十羽ほどのニワトリのうち、あまり卵を産まなくなつた高齡の一羽をつぶして鍋にしたものである。コトコトとガラを煮てスープをとり、ゴボウやコンニャク、焼き豆腐なども加えて味噌で味付けする。子供のころの私の楽しみは、その鍋のなかに卵になる前の黄色い卵「キンカン」を見つけて食べることであった。一羽丸ごと使ったので、ニワトリのお腹のなかには大小数個のキンカンができていたのである。今思えば、まだ卵を産めるニワトリだったのだ。

『順徳天皇』余聞 講演会の案内

演題：『順徳天皇』余聞
講師：山田 詩乃武 (『順徳天皇』著者)

日時：令和4年9月10日(土) 15:00~16:30
会場：東京新潟県人会館2F ホール
TEL.03-3832-7619
東京都台東区上野1-13-6
(東京メトロ千代田線湯島駅6 番出口徒歩1分)

定員：100名
会費：1,000円

日時：令和4年10月9日(日) 【講演】16:00~17:30
【懇親会】18:00~

会場：庄や 目黒408店
TEL.03-3779-4441
東京都目黒区下目黒1-1-2 七幸ビル(JR目黒駅徒歩1分)

定員：50名
会費：1,000円(講演会のみ) 6,000円(懇親会含む)

<お申込み・お問合せ> 山口・山田まで
電話：070-4285-0808 Mail: yshinobu@docomo.ne.jp

第55回関西支部総会

令和3年10月23日(土)に関西支部第55回総会が新大阪駅近くのホテルメルパルク大阪で開催されました。7月の幹事会で歴史ある関西支部総会を「コロナなんか負けてたまるか」との想いで開催を決定した次第です。

コロナ感染が心配される中で座席の間隔とパーティションアクリル板を設置して、部屋の換気、入場時の検温、アルコール消毒、マスク着用等をお願いして、感染防止に万全を期して開催致しました。

来賓として同窓会本部から末武副会長始め、長年交流している中部支部北婦会の渡邊事務局長のお二方を、お迎えして有意義な総会が開催出来ました。コロナ感染の心配や体調の都合で最終的に18名参加の総会となりました。藤木支部長から遠方からの来賓参加に対する謝意と高齢化に対する活性化等の挨拶の後、末武副会長から8月の総会で中山会長が怪我のため退任し、鈴木新会長が就任されている話や創立百二十周年記念事業で皆さんから協力頂き、設置した電子黒板は教職員や生徒が大いに活用しているとのこと。又、資料を

持参頂き佐渡高校の概要と部活動の状況、文武両道の活躍をご説明頂きました。

中部支部の渡邊事務局長からは北婦会も高齢化が進み出席者減少ため「北婦会だより」等を発行して活性化を図ると共に紫苑会(旧金沢女子校)にも参加を呼掛けています。苦労話や今後も関西支部と協調していきたいとの話がありました。

総会では関西支部の決算報告や活動報告、関西支部規約と役員の一部変更等の審議を行い満場一致で承認されました。藤木支部長が高齢で勇退され長年の功績に対して記念品等の贈呈が行われました。

第二部の懇親会では、須藤新会長から関西支部の高齢化が進む中で、新規参加者等の底上げを図ると共に春の見学会の充実を図って行きたいと挨拶して、同窓会の発展と健勝を祈念して乾杯の発声で宴席開始。



須藤新会長



関西支部幹事
板倉 健(昭和37年卒記)

演劇バカⅡその代償・感謝

山川 辰 也(昭和45年卒)

毎年送られてくる同窓会誌を見ると「過去・現在の栄光記事」がほとんどで、私は違和感を覚えてしまいます。卒業生のなかには誌面に紹介されることもなく忘れられていく方々が多いのではないかと、文字では表現しがたい感情が湧いてきます。

佐渡高校で育てられ卒業していかれた方々のなかには、これといって目立った実績はなくとも、自己実現され充実した人生を歩まれている方々が多いと思います。目に見える栄光を紹介するのでもないと思います

が、そうではなく、日々悪戦苦闘しながら、時には苦しみ涙しながらも歯を食いしばって生きている方々の生きぶりを紹介していただき、きっと同窓生の励ましになると確信します。

私は高校在籍の3年間、演劇クラブに所属しました。先輩の勧めで入部しましたが、正に演劇にはまっけてしまった3年間でした。昭和44年度、3年生の時、部長として演出・監督をさせていただきました。取り組んだ演目は森鷗外作「生田川」でした。この演目は一部員の提案に始まり全部員の知恵で決定しました。その年度の秋、佐渡地区大会で佐渡代表となり、同年度冬、県大会(上・中・下

越・佐渡4校が県民会館で)に出演しました。

まさか、最優秀賞を受賞するなど夢にも思っていまませんでした。ステージ上で結果発表があった時、下越地区代表の沼垂高校の女生徒たちが崩れるようにして悔し涙を流していました。その姿を見て価値ある賞を頂いたのだと実感しました。田舎から出て行った私たち佐渡高校生は最高の賞を受賞することよりも、恥ずかしくない発表をしよう

と心がけていました。田舎者ながら、私たち佐渡高校演劇部の生徒は「本物を追求しよう」との心意気で共感しあっていたと思います。作品の深い解釈から始まり読み合わせ、発声練習・役作り、舞台作りまで侃々諤々の日々を送りま



演劇部員 (2列目左端が筆者)



上演前のメイキャップ

に良いはずはなく、担任の豊原先生の「物理」と田中先生の「日本史」が赤点になつてしまいました。留年するかもしれない状態にまでなつたりしました。でもその時点で大学はすれすれ合格していたので、先生方は「山川を大学に送るか留年させるか」相当迷われたことと思います。

演劇が好きで演劇バカになつていったのか、学業からの逃避として演劇に夢中になつていったのか。その時は分かりませんでした。が、今思えばその両方だったのだと思います。しかし、私が後に社会人として教職人生を送るに当たり、高校時代の(演劇)部活動は大きな私の支え・糧でありました。当時の部員の皆さんは今、どこで何をされどう

過ごされているのか分かりませんが、とても懐かしく思います。同じ志を持った同志に、そして見守つて下さった顧問・担任の先生や多くの学友に、この紙面をお借りして心から感謝いたします。「ありがとうござ



文化祭にて「生田川」上演を終えて

先輩に追いつけ！
在校生の活躍

令和三年度
(全国大会・北信越大会
出場クラブ)

本校からは、陸上競技部
バレーボール部(男子)が北
信越大会に出場しました。

相川分校からは、バスケ
ットボール部(男子)、総合
運動部が全国大会に出場し
ました。

佐渡高校では、多くの生徒
が部活動に所属し、日々の練
習や活動に積極的に取り組ん
でいます。引き続きご支援の
ほど、よろしくお願いいたし
ます。

※印は 北信越大会
◎印は 全国大会

運動部

《本校》

◆陸上競技部

・北信越高等学校陸上競技
対抗選手権大会

男子

【やり投げ】

11位 山本 成騎 ※

・北信越高等学校新人陸上
競技大会

男子

【800m】

3位 渡邊 隼人 ※

6位 高野 隼輔 ※

【1500m】

8位 葛原 城 ※

【3000mSC】

15位 斎藤 拓真 ※

◆バレーボール部(男子)

・北信越総合体育大会

ベスト16 ※

1回戦

2-0 富山県立氷見

2回戦

1-2 石川県立工業

《相川分校》

◆バスケットボール部(男子)

・全国高等学校定時制通信制
体育大会

ベスト8 ◎

1回戦

不戦勝 香川県立丸亀

2回戦

62-52 東京都立一橋

3回戦

73-72 神奈川県立横浜明朋

準々決勝

51-85 天理(奈良県)

◆総合運動部

・全国高等学校定時制通信制
体育大会

女子

【円盤投げ】

決勝15位 宇佐見優奈 ◎



相川分校・男子バスケットボール部大会風景

【旧受用寮取壊の方針】

吹奏楽部部室として利用して
いた旧受用寮の取り壊しの方針
が決まりました。建物の老朽化
と急傾斜地に建っていることか
ら危険なため使用禁止とされて
います。



2022年3月卒業生の主な合格先

大阪大学、北海道教育大
学、岩手大学、秋田大学(2
名)、福島大学(3名)、茨城大
学、新潟大学(9名)、上越教
育大学(2名)、信州大学、静
岡大学、岩手県立大学、山形
県立保健医療大学、高崎経
済大学、埼玉県立大学、新潟
県立大学(3名)、新潟県立看
護大学、三条市立大学、長野
大学(2名)、都留文科大学、
山梨県立大学、慶應義塾大
学、中央大学(2名)、法政大学
(2名)、成城大学、成蹊大学
(2名)など。

例年と同様、大学・短大進
学者は、卒業生全体の7割
を越えました。特に、令和4
年3月卒業生の進学率は72.
7%となり、過去5年で最も
高くなりました。佐渡高校で
は、上級学校の受験が必要と
なる学力の育成に、日々取り

過去5年間の卒業生の進路先

卒業年	2022	2021	2020	2019	2018
国立大学	36	51	40	45	45
私立大学	84	61	72	82	80
国立短大	1	1	2	2	2
私立短大	4	9	7	4	6
専門学校	34	46	38	40	43
就職	5	4	5	5	6
その他	8	7	3	9	8
卒業人数	172	179	167	187	190

38年卒同期の皆様へ

こんにちは。皆さんお変
わりなく、お逢着でお過ご
しだったでしょうか？

後期高齢者の領域に入っ
てから数年、もうすぐ80歳
に届きそうなどころまで
たどり着きましたが、お身
体に異常は感じませんか？

私の場合は振り返ります
と、昨年までは、あんちゃ
ん気分を満喫していたも
の、今年に入り急に衰え
を感じ、すっかり爺さん
の雰囲気。「憎まれ爺、世
にはばかる」のモットー

組んでいます。また、生徒一人
人が進路希望を実現できる
よう、丁寧で的確な指導を続
けています。引き続きご支援
を賜りますよう、お願い申し
上げます。

のである毎日をご過ごしてい
るこの頃です。

男性の皆さんはどうです
か？私と同じようなこと
を経験していませんか？

「おりゃーそんなこと無い
よ」との声。羨ましい限り
です・・・!!

さて、小生の近況報告は
これまでとし、話題を変え
たいと思います。

それは6月25日のこと。
早朝の電話を受け取った
ところ、「俺だ、おれ、嘉
足だ」の声。声の主は東京
在住の伊藤嘉足君、電話の
要件は浅島誠氏がテレビ
朝日系の番組に出演する
から、この情報を拡散する
ように本間直昭君から連
絡があったので電話した
とのこと。我々が誇る生物
学者・浅島誠氏。そこで番
組表を見たら当日の夜10
時から、テーマは「自分流」
帝京大学先端総合研究機
構副構長と紹介されて
いました。このことは、す
でに高野泰三郎君からの
メールで分っていたので
承知していたところ、さら
に氏が月末に来島すると
の情報(7月31日に「佐渡
島・天地人サイエンスプロ
ジェクト2022」をテ



ーマにアミューズメント
佐渡で講演の予定)。折角
の機会、放映と講演はそっ
ちのけとは云わないけど
池田雄彦君と相談、浅島氏
を囲む会の同級会を佐渡
在住の者に限り案内する
こととしました。このこと
を東京組、新潟組にこの場
を借りて知らせておきま
す。悪しからず。

放映の内容は幼い頃に興
味を持ったカエル。卵から
オタマジャクシ、そしてカ
エルへとどうして成長する
のかの疑問。このことに纏
わる好奇心、そして情熱を
越える情熱を持って取り組
んだ研究。結果、44歳にし
て世界の研究者が約50年追
い求めたにもかかわらず、
誰もが発見し得なかった誘
導物質・アクチビンを見
見。氏の名を世界に知らし
めた経緯を紹介していまし
た。アクチビン。生物の卵
分割の過程で発生する各器
官(内、中、外胚葉・体の
形作りを決定する最も基本
的な役割を持つ胚誘導物質。
この功績により、恩賜賞を
受賞。佐渡ではかつてこの
賞の受賞を祝い、同窓会が
中心となって祝賀会を行っ
たことは記憶に新しい。今
後はiPS細胞の山中伸
弥博士に先を越されてしま
ったが、医学界での幅広い
応用により最も名誉ある賞
の受賞を期待するものでは
ある。また、氏にはそのため
にも健康に留意し長寿する
ことを願い、項を終わるこ
ととします。

若林(安福)光伸昭和38年卒 記

同窓会発行の書籍について

佐渡高校同窓会発行の書籍の在庫があり、下記の価格で頒布しています。(知り合いで歴史に興味のある方がいましたら、ご紹介下さい。)



▼問い合わせ・購入は同窓会本部事務局まで
(電話 0259-57-3416)

- 同窓のおとずれ

送料込 5,000 円
- 佐渡高等学校百年史

送料込 3,000 円
- 近世先賢書簡集(萩野由之博士蒐集)

送料込 10,000 円
- 伊藤氏日記

送料込 5,000 円

令和4年度 同窓会役員名簿

監査	監査	監査	顧問 (校長)	顧問	顧問	顧問	顧問	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
児玉功	中川恒男	濱田幸毅	森川幸彦	中山秀英	天池範夫	弾正俊一	中川哲昌	永田治人	後藤圭子	末武正義	松井夫佐子	鈴木啓介
羽茂支部長	真野支部長	畑野支部長	新穂支部長	阿・吉井支部長	金・吉井支部長	八幡支部長	二宮支部長	河原田支部長	沢根支部長	二見支部長	相川支部長	竹田裕
小橋徹	山本充彦	後藤敏数	板垣徹	甲斐元也	西山健樹	金子邦朗	渡辺直樹	林隆行	近江芳和	坂本久裕	赤泊支部長	小本支部長
金泉支部長	高千支部長	相・外海支部長	西・外海支部長	内海府支部長	加茂支部長	両津支部長	河崎支部長	水津支部長	岩首支部長	松ヶ崎支部長	赤泊支部長	小本支部長
今井茂樹	山本雅明	地多正光	中嶋一太郎	木村嘉彦	市橋恒雄	尾場憲栄	清田澄夫	石崎澄夫	計良武彦	金田淳一	深野俊之	摩尼義晴
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員
金森大蔵	中山道夫	山下英子	北見千香子	古賀洋子	立壁邦徹	和泉敬義	関川健一	須藤誠	浅島誠	山本ミチ子	本間栄三郎	摩尼義晴
評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員
岩崎隆寿	関根敬子	小浜安夫	加藤健尚	渡部尚	村田慶朗	寺沢正紀	斎藤英夫	川上恭治	加藤恭子	大崎直樹	大崎直樹	大崎直樹

寄 贈 図 書 抄

令和3.7月～令和4.7月

著 著 名	著 者 名	寄 贈 者	年月日
季刊 朱鷺 第50号・51号・52号・53号	赤塚 五行	赤塚 五行(昭和44卒)	令3.7~
佐渡人のくらしをつむぐ 2021. 7	佐渡ジャーナル出版局	佐渡人のくらしをつむぐ会	令3. 7
佐渡の神社と鬼太鼓 若一王子神社由緒	矢田 有年	矢田 有年(昭和28卒)	令3. 8
佐渡郷土文化 157 2021-10月	佐渡郷土文化の会	山本 修巳(昭和32卒)	令3.11
国学院雑誌(論文「佐渡金山への水上輪導入と水学宗甫」)	橋本 賢一	橋本 賢一	令4. 2
知りたくなる佐渡	齋藤 明雄	齋藤 明雄(昭和46卒)	令4. 4
詩・エッセイ「野の風にひとり」	倉田 史子	倉田 史子(昭和35年卒)	令4. 5

計

報

令和3年8月から令和4年7月20日までに事務局に連絡のあった方々です。
生前のご厚誼を深謝し謹んでご冥福をお祈りいたします。

区分	氏 名	出身 年 月	区分	氏 名	出身 年 月	区分	氏 名	出身 年 月
昭和33佐高	本間(齋藤)敦子	二宮	昭和13河高女	後藤イッ	河崎	昭和18佐中	池野一男	新穂
昭和29佐高	本間(真藤)明子	沢根	昭和42佐高	三浦雅夫	新穂	昭和26佐高	廣田成雄	畑野
昭和26佐高	土屋俊二	赤泊	昭和38佐高	近藤幸久	新穂	昭和26佐高	吉田幸二	金沢
昭和18佐中	田中喜一	両津	昭和34佐高	山本和伸	河崎	昭和24佐高	児玉(山崎)和郎	吉井
昭和36佐高	野口正輝	二宮	昭和29佐高	金子毅	二見	昭和28佐高	本間昭雄	畑野
昭和33佐高	金津善祐	河原田	昭和27佐高	中村一郎	新穂	昭和46佐高	山本寛己	新穂
昭和27佐高	岩田(笠井)マサノ	小井	昭和16佐中	中山幸雄	外海府	昭和45佐高	金子博之	真野
昭和20佐中	山崎文雄	吉井	昭和29佐高	山本泉	赤泊	昭和39佐高	岩田雅彦	金沢
昭和44佐高	池田純二	新穂	昭和42佐女	山田紀代美	両津	昭和32佐高	本間靖彦	沢根
昭和37佐高	本間敏彦	真野	昭和40佐高	石塚(遠藤)秀男	真野	昭和21河高女	鈴木(末武)サト子	沢根
昭和35佐高	新保(本間)富美子	小井	昭和37佐高	関根(前田)睦子	羽茂	昭和11河高女	正治富	河崎
昭和21河高女	小島(石塚)美代	河原田	昭和28佐高	高橋(後藤)まゆみ	新穂	昭和10河高女	登坂(岩崎)キミエ	二見
昭和18河高女	羽二生カヨ子	畑野	昭和29佐高	野村(佐々木)政子	二宮	昭和40佐高	岡崎世四治	小井
昭和30佐高	鈴木安雄	新穂	昭和37佐高	山本孝雄	両津	昭和49佐高	中村毅	八幡
昭和48佐高	豊島(石川)光枝	新穂	昭和29佐高	野村(佐々木)政子	二宮	昭和45佐高	山本(齋藤)健三	畑野
昭和30佐高	藤井直文	吉井	昭和28佐高	橋詰恒雄	松ヶ崎	昭和23佐中	渡辺一之	加茂
昭和29佐高	山本茂之	金沢	昭和26佐高	本間(佐々木)喬子	二宮	昭和36佐高	田中昭久	相川
昭和27佐高	土屋七男	新穂	昭和25旧高	本間正英	真野	昭和30佐高	本間重行	畑野
昭和20佐中	木下昭一郎	吉井	昭和20河高女	秋野(西山)玲子	相川	昭和32佐高	渡辺岩夫	畑野
昭和33佐高	小山昌一	二宮	昭和18佐中	鈴木正樹	金沢	昭和29佐高	山本正子	真野
昭和17河高女	中堀チエ	河原田	昭和39佐高	石原(有田)豊	河原田	昭和26佐高	大塚行雄	高千
昭和35佐高	川越(小村)美美子	八幡	昭和35佐高	中村武和	河原田	昭和26佐高	渡辺尚人	二宮
昭和11河高女	小杉(安達)郁子	金泉	昭和33佐高	浅嶋(余湖)収	畑野	昭和46佐高	加藤(石見)孝之	相川
昭和37佐高	小池(三浦)昌子	真野	昭和25河高女	中山伊東イサ子	沢根	昭和29佐高	関川(田部)タツエ	赤泊
昭和32佐高	木下隆一	新穂	昭和23佐中	白須泰彦	両津白瀬	昭和27佐高	海老名二郎	畑野
昭和30佐高	山中輝雄	高千	昭和50佐高	酒井正道	長野	昭和25旧高	本間俊雄	畑野
昭和43佐高	田中繁晴	河原田	昭和40佐高	加藤孝克	八幡	昭和21河高女	高橋(土賀)美鳥	両津白瀬
昭和41佐高	高橋邦芳	相川	昭和34佐高	山田由紀男	真野	昭和2佐高女	高橋(土賀)美鳥	両津白瀬

《お詫び》			
令和3年発行の会報計報欄で誤りがありました。			
右記のとおり、訂正してお詫び申し上げます。			
誤	正	誤	正
昭和37卒	本間正宣様	昭和33卒	本間重美様
昭和40卒	野口いつ子様	昭和40卒	野田加賀いつ子様
昭和41卒	石見洋平様	昭和41卒	石見洋介様

編集後記

◆同窓会会員の皆さまにおかれましては、日頃より同窓会の活動にご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。皆さまのご協力のおかげで、今年度も「同窓会報」を発行することができました。ありがとうございます。同窓生各位の絆がさらに強くなることを願っております。同窓会の維持・発展に貢献していただき、多くの会員の方に納めていただき、感謝しております。この1年間に会費を納めていただいた方は、その前の1年間より約60名増えました。ご協力ありがとうございます。引き続き会費の納入をお願いします。今回の「同窓会報」にも、会費を納めていただいた方のご芳名をあげさせていただきます。

◆令和4年度は、3年ぶりに同窓会総会を実施します。過去2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会の実施を見送ってきました。今年度は、鈴木会長のもと、新体制で同窓会活動を進めていくという方向性を共有するためにも、総会を開催したいと考えています。懇親会を実施せず、総会だけの実施となりますが、ぜひご参加ください。

◆令和4年度より同窓会業務を担当する、地歴公民科教員の宮崎です。島外の出身ですが、縁あって佐渡高校に2度目の勤務することになりました。豊かな自然環境のもと、可能性を秘めた生徒たちが集う佐渡高校に再び勤務できることを、幸せに思っております。同窓会の業務にも、スピード感をもって丁寧に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

※会報の原稿をお送りいただく場合は、6月末(日)までにお願いいたします。

(同窓会事務局 宮崎隆一、渡辺日出子)

【お願い】

同窓会事務局へのご連絡は、事務局職員の居る左記の時間にお願いたします。

毎週月曜日・木曜日 時間 9時～12時

電話番号 0259-57-3416 (直通)

FAX 0259-52-5253

※計報のお知らせは、ハガキかFAXでいただけますとありがたいです。